

<輸送の概要>

「全農チキンフーズ」グループ会社(※)の川内工場で加工された鶏肉加工食品を関東・関西の消費地へ輸送。

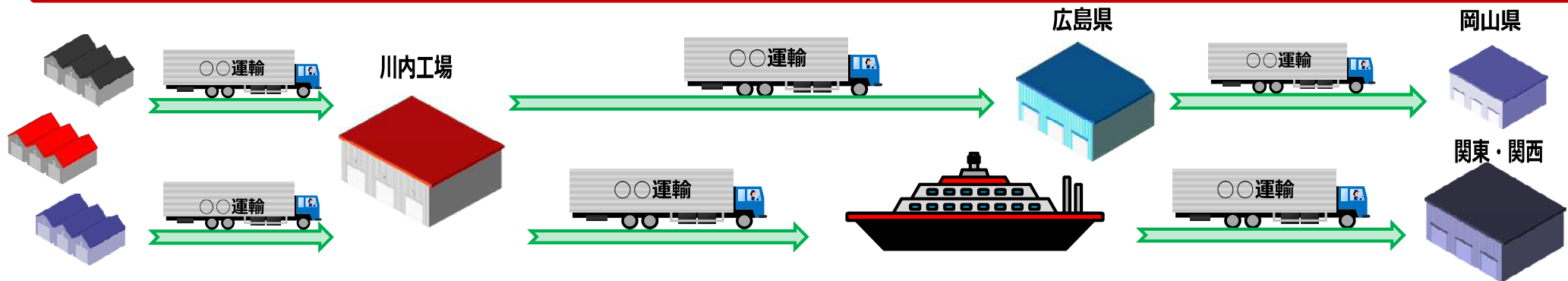
(※) 生産農場から集荷した食肉を県内4工場(川内・大隅(曾於)・知覧・鹿屋)で加工・出荷。

<輸送の特徴>

北関東まで輸送しているが、仕向地によって、トラック、フェリーを使い分けて輸送している。

具体的には、関東・関西方面へは、志布志港～大阪南港間、または、宮崎港～神戸港間のフェリーを活用し、残りの行程をトラックで輸送。トラックのみの運送は、概ね岡山県が最遠。

生産農場 → 運送 → 川内工場(加工) → 運送 → 卸会社・営業所(保管) → 運送 → 店舗等



パイロット事業の集団

発荷主	鹿児島くみあいチキンフーズ(株) 川内工場 (鶏肉加工)	鶏肉の発送
元請運送事業者	(株)JA物流かごしま (利用運送事業 ※一般貨物兼業)	運送会社に運送依頼
下請運送事業者	牧迫運輸(株) (保有車両数38両、運転者34名)	トラックによる輸送

(※) 着荷主なし

九州におけるパイロット事業集団の選定状況

鹿児島県地方協議会 資料

H28.9.13現在

県	発荷主	元請運送事業者	下請運送事業者	着荷主	選定理由等	実施予算	コンサルタント
福岡	物流会社 (工業製品)	甘木合同運輸(株) (株)チクホー (有)北野運輸	なし	物流会社	手待ち時間等の改善 ほか	全ト協	決定
佐賀	加工食品	一般貨物自動車運送事業者	なし	着荷主なし	手待ち時間等の改善 ほか	全ト協	決定
長崎	食品	一般貨物自動車運送事業者 (利用運送 兼業)	なし	食品	手待ち時間等の改善 ほか	全ト協	決定
熊本	青果物	調整中	調整中	調整中	手待ち時間等の改善 ほか	全ト協	決定
大分	鶏卵	一般貨物自動車運送事業者	なし	着荷主なし	手待ち時間等の改善 ほか	全ト協	決定
宮崎	宮崎県経済農業協同組合連合会 (青果物)	(株)JA物流みやざき 利用運送事業者 (一般貨物自動車運送事業 兼業)	(有)宮崎配送センター	東京大田市場内卸売会社 大阪本場市場内卸売会社	宮崎県の主要産業で あり長時間労働の実 態を改善	厚労省	決定
鹿児島	鹿児島くみあいチキンフーズ(株) 川内工場 (鶏肉)	(株)JA物流かごしま 利用運送事業者 (一般貨物自動車運送事業 兼業)	牧迫運輸(株)	着荷主なし	発荷手待ち時間、 荷役時間等の改善	国交省	決定

トラック運転者の長時間労働抑制のための実証実験

進め方について

<目次>

1. 実施内容	2
2. 各実施項目の具体的内容	4
3. 業務工程計画	9

1. 実施内容

(a) 実施目的

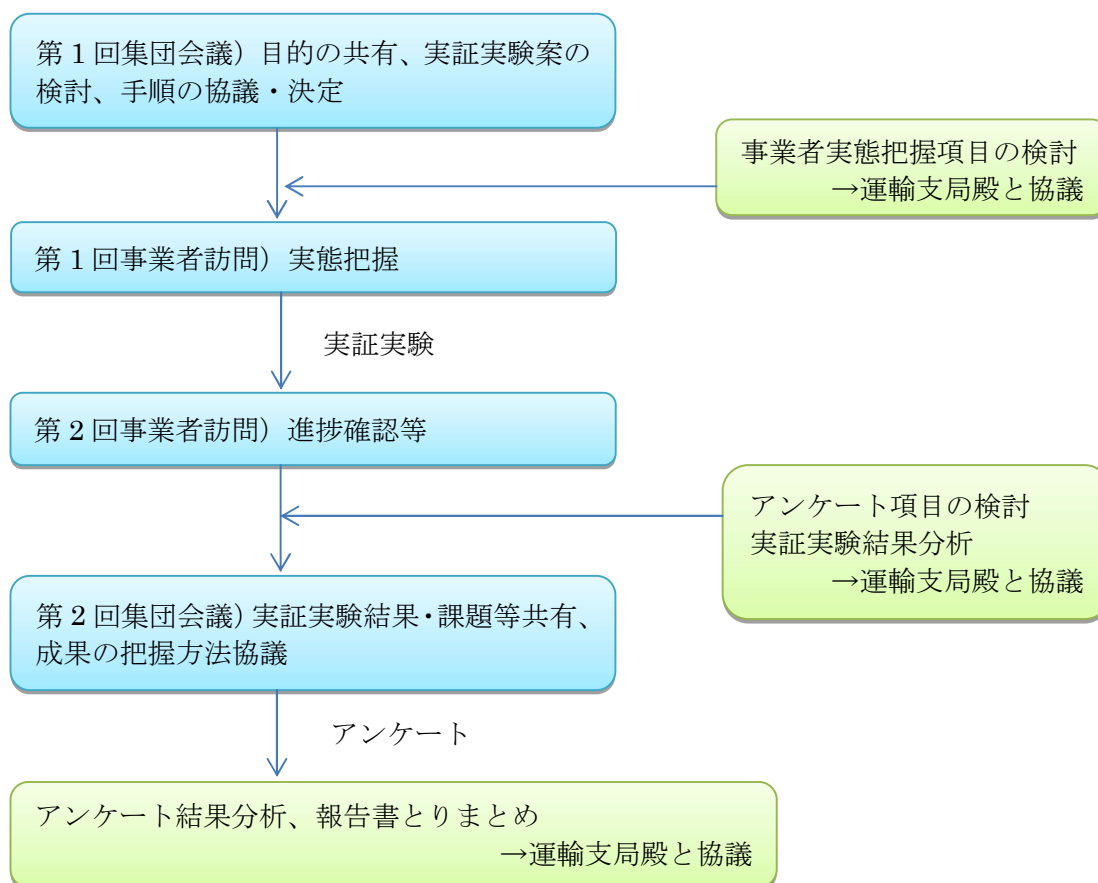
トラックドライバーの長時間労働を抑制するという目的に向かって、取引慣行等の実態を明らかにし、その改善のための具体的な方策を実証実験を通じて探究することが、この事業の目的です。

(b) 業務実施フロー

当該業務は下記のような流れを想定しております。進捗状況に合わせ、調整を行うことがあります。

適宜、運輸支局殿と協議し、また地方協議会への報告資料を作成します。

業務の流れ



(c) 実施手順

以下の要領で、長時間労働の実態把握－改善策の実証実験－成果確認およびとりまとめを行います。

なお、会議や訪問の回数は進捗に応じて鹿児島運輸支局殿と協議し、修正していきます。

<A.実態把握>

- ① 運輸支局殿と打合せ、並びに第一回事業者訪問) 実態把握
 - ・ 運輸支局殿より、事業のこれまでの経緯と踏まえるべき要望等を把握します
 - ・ 事業場を訪問し、ドライバーの長時間労働の実態およびその発生原因を探るとともにその真因についてディスカッションします。
 - ・ ディスカッションを通じて地域の実情や事業者の特性も把握し、これらを踏まえたうえで、どのような改善策および実証実験が適しているか、検討を行います。

<B.実証実験>

- ② 第一回集団会議
 - ・ 発荷主、元請・実運送事業者が一堂に会する会議（「集団会議」と呼ぶ）を開催し、以下について検討します。
 - 本事業の目的の共有
 - 本事業の対象とする運行に関わる実態の共有
 - 実証実験の内容
 - 実証実験の実施手順検討
 - ・ 実証実験の内容に即し、「取組前」の実態把握について、必要に応じて定量的なデータの把握を依頼します。
- ③ 第二回事業者訪問
 - ・ 実証実験実施中の事業所を訪問し、進捗状況・改善策実施状況を確認し、必要に応じて助言等を行います。
- ④ 第二回集団会議
 - ・ 実証実験終了後のタイミングで、実験の結果を共有し、成果の把握方法等について協議します。
 - ・ この後も継続して改善に取り組むための課題、アイデアについても話し合います。

<C. 成果の確認、とりまとめ>

- ⑤ アンケートの実施
 - ・ 実証実験の成果を関係者それぞれの立場において、なるべく定量的に把握して今後の取り組みに役立てるために、実証実験終了後にアンケートを実施します。
- ⑥ 報告書の作成
 - ・ 実証実験の内容とその実施状況、実施前と実施後の長時間労働実態の変化、アンケートで確認された成果等について、具体的に記述した報告書を作成します。
 - ・ 報告書は、画像データ等を用いて定量的・客観的・具体的にまとめることとします。
 - ・ 公表時の企業名表記、記載内容について、あらかじめ集団関係者の承諾を得ます。

2. 各実施項目の具体的内容

(a) 実態把握

- ・ 長時間労働の発生状況、その発生原因等について実態を把握し、改善策を検討するため、下記のような項目について把握することを検討しています。
- ・ 運輸支局殿との打合せ、ならびに事業者訪問の際等に、把握すべきと思われる事項が発見されたら、都度追加していきます。

【発荷主向け実態把握項目】

- ① トラック運転者の労働条件の改善についての意識
- ② トラック運転者の労働実態に関する認識
- ③ 自社の委託先の改善基準告示の遵守状況に関する認識
- ④ 自社の委託先との契約書の有無、通常の運送依頼の方法
- ⑤ トラック運転者の労働条件改善に向けての取り組み状況

【元請運送事業者向け実態把握項目】

- ① トラック運転者の労働時間管理の方法
- ② 改善基準告示の遵守状況、長時間労働につながる現場実態
- ③ 遵守ができない原因、遵守するための課題
- ④ 発荷主側における課題
- ⑤ 着荷主側における課題
- ⑥ トラック運送事業者側における課題
- ⑦ 下請け事業者側における課題
- ⑧ 下請け事業者のトラック運転者の労働時間の把握状況
- ⑨ 下請け事業者との契約方法、運送指示の方法
- ⑩ 課題解決の方法として想定されるもの

【実運送事業者向け実態把握項目】

- ① トラック運転者の労働時間管理の方法
- ② 改善基準告示の遵守状況、長時間労働につながる現場実態
- ③ 遵守ができない原因、遵守するための課題
- ④ 発荷主側における課題
- ⑤ 着荷主側における課題
- ⑥ 元請トラック運送事業者と自社との関係における課題
- ⑦ 実運送事業者側における課題
- ⑧ 実運送事業者のトラック運転者の労働時間の把握状況
- ⑨ 元請事業者との契約方法、運送指示の方法
- ⑩ 課題解決の方法として想定されるもの

- ・ なお、問題発生の原因と改善策については、弊社であらかじめ整理したうえで実態調査に臨みます。想定される一例を示せば以下のとおりです。

長時間労働の発生原因：待機問題を巡って（案）

【発荷主側】

- A. 積込にあたり待機時間が発生している
 - ・ 車両が集中し、待ち時間が発生
 - ・ 集荷時刻に出荷準備ができていない
 - ・ 長時間待機を回避するための早出などの待機
- B. 積込作業自体に時間がかかる
 - ・ 適切な荷役機器の用意がない・少ない
 - ・ 荷主側の人員配置が適切でなく、作業が停滞する
 - ・ ドライバーに手積み作業が要請される
- C. 付帯作業が発生している
 - ・ ドライバーに契約内容以外の作業が要請される

【着荷主側】

- A. 荷卸しにあたり待機時間が発生している
 - ・ 同一時刻指定納品による待機（全納入車両に対し、「朝一番納品」を指定するなど）
 - ・ 作業所要時間の算定が適切でないことによる待機（荷受可能台数を超える台数の車両に同じ時間帯の納品指定をするなど）
 - ・ 長時間待機を回避するための早出などの待機
- B. 積込作業自体に時間がかかる
 - ・ 適切な荷役機器の用意がない・少ない
 - ・ 荷主側の人員配置が適切でなく、作業が停滞する
 - ・ ドライバーに手卸し作業が要請される
- C. 付帯作業が発生している
 - ・ ドライバーに契約内容以外の作業が要請される

【運送事業者】

- A. 待機、付帯作業等について商慣行上やむを得ないものとの認識が強かった
 - ・ 待機・付帯作業等について運送契約に明記していない
 - ・ 運送契約の書面化がなされていない
 - ・ 待機・付帯作業等について荷主に申し入れたことがない

待機問題改善への取組み確認項目（例）

①発荷主向け

- ✓ 出荷作業について、トラックの着時間を考慮に入れて調整しているか
- ✓ 出荷時の車両の待機状況を把握しているか
- ✓ 車両の待機について、ドライバーまたは運送事業者から申入れなどはあるか
- ✓ 車両の待機をなくすために、取り組んでいることはあるか。取組による改善状況は？

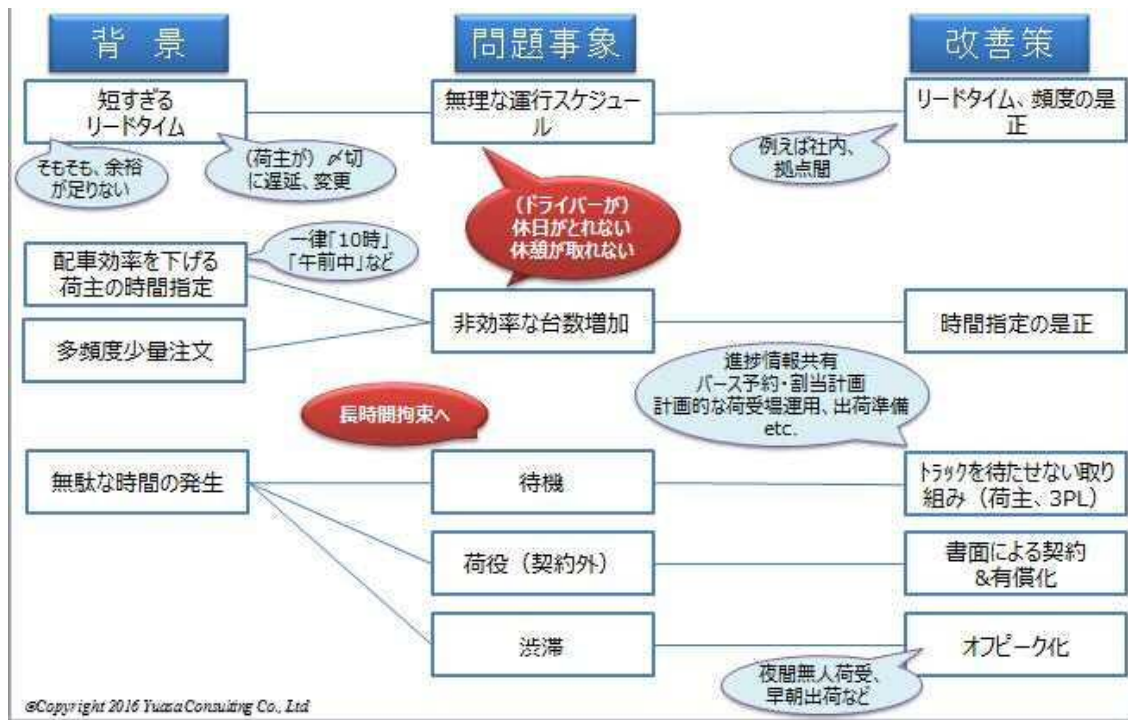
②運送事業者向け

- ✓ 改善基準告示は遵守できているか。
- ✓ 改善基準告示を遵守できない原因はなにか（発荷主待機時間、着荷主待機直、急な運送依頼、配車完了後の条件変更、交通渋滞など都市の問題）
- ✓ 労働時間や拘束時間の状況
- ✓ 手待ち時間はどの程度発生しているか。頻度・時間は？
- ✓ 待機や付帯作業が発生している箇所について、対象団体のなかで発生している事象に限定し、具体的に記入してもらう。
- ✓ 待機、付帯作業などを明記した運送契約の書面化はできているか

③着荷主向け

- ✓ 待機発生状況をどのように把握しているか
- ✓ 待機について、ドライバーまたは運送事業者から申入れなどはあるか
- ✓ 時間指定はどのように行われているか。
- ✓ 時間帯別時間指定はどのように行われているか。根拠にしたデータなどがあるか。
- ✓ 納品について、問題視していることがあるか（センター周辺の渋滞、周辺住民からのクレーム）
- ✓ 待機について、改善を試みたことがあるか。どんな取組みか

ドライバー長時間労働の発生メカニズム



(b) 実証実験

- ・ 事業者実態把握から解消すべき事態を抽出し、対象集団において問題意識を共有し、実証実験において改善に取り組みます。
- ・ 実際に長時間労働を抑制するために取り組むべき課題として、例えば待機問題に関わる課題としては下記のようなものが想定されますが、実証実験においては、このような想定される課題について、これらを解消するために、実務においてどのような対応が必要かを検討し、実行を試み、これらの試みを継続的に実務に適用するための課題を検証していきます。

- ① 発荷主における顧客からの注文の受け方 (受注の〆切時刻、納品条件等)
- ② 発荷主における出荷作業スケジュールの立て方
- ③ トラック運送事業者への指示の出し方
- ④ トラックへの積み込み作業の方法
- ⑤ トラック事業者との契約内容の書面化

- ・ 実証実験中に事業者を訪問し、進捗状況を確認し、必要があれば改善・調整を依頼し、対象集団各社で協力しあっても、さらに残る課題を明確にしていきます。
- ・ 実験終了後、改善成果を検証し、さらなる改善成果を上げるための提言を行います。

(c) 成果の確認（アンケート）

- ・ 実証実験の成果を関係者それぞれの立場において、なるべく定量的に把握して今後の取り組みに役立てるために、実証実験終了後にアンケートを実施します。
- ・ アンケート案は弊社にて運輸支局殿と協議して作成し、2回目の集団会議において内容説明を行い、不明点がないようにします。
- ・ 当該集団会議では、実証実験の分析結果を共有し、成果や課題に関わる確認を行い、これらについて正しく分析・評価できるアンケートとなっているかを確認します。
- ・ アンケート回答および当該事業内容は公表される可能性があることを提示し、各事業者において公表に関わる許可を得てもらうよう依頼します。

【アンケート案】

◆発荷主）物流担当者向け

- ① 実証実験実施において発生した課題・効果
- ② 実証実験内容を継続的に実施する場合の課題
- ③ トラック運転者の労働時間に関わる認識
- ④ 荷主の行動がトラック運転者の労働時間に及ぼす影響に関わる認識
- ⑤ トラック運転者の労働条件改善について今後取り組みたいことと課題

◆運送事業者）配車担当者向け

- ① 長時間労働の改善状況
- ② 実証実験実施において発生した課題・効果（長時間労働の改善以外）
- ③ 実証実験内容を継続的に実施する場合の課題
- ④ よりよい成果を引き出すための改善方策

◆運送事業者）ドライバー向け

- ① 実証実験において実感した効果・課題
- ② 指示関連で困ること
- ③ 出発から帰庫までの間で最も改善してほしいこと

3. 業務工程計画

下記のような流れを検討しておりますが、進捗状況により調整します。

業務工程計画

	実施内容	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第一回集团会議	目的の共有、実証実験計画検討	★							
(弊社・事務局)	実態把握項目検討		←→						
第一回事業者訪問	実態把握、改善策に関わる意見聴取		←→						
(弊社・事務局)	実態とりまとめ、効果測定項目検討			←→					
(事業者にて)	実証実験実施				←-----→				
第二回事業者訪問	実証実験状況確認、助言				←→				
(弊社・事務局)	結果分析・アンケート項目検討					←→			
第二回集团会議	実験結果の共有					←→			
(事業者にて)	アンケート実施						←→		
(弊社・事務局)	報告書作成							←→	